※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０１

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「MOUSA２」　（音楽之友社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

音楽Ⅰで学んだことを基礎に、生涯にわたって音楽を楽しんでいくための素地を作りましょう。アンサンブルを作っていく過程で、よりよい表現をするために自分たちで試行錯誤できるような機会を多く作っていきたいと思います。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的･歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
(3) 主体的･協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。知識 ・　創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。技能	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 「Alleluja」(斉唱) 「SUN」(合唱)	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c: 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技テスト	実技テスト 振り返りレポート	観察 実技テスト ワークシート
	クラシックギターのアンサンブルを楽しもう	【器楽】 「Long long ago」 (ギター独奏)	a:【知】曲想とギターの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、メロディーと伴奏の調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	ワークシート 実技テスト		

※令和４年度以降入学生用

一学期	クラシックギターのアンサンブルを楽しもう	【器楽】 「Long long ago」 (ギター独奏)	b：音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて独自の表現意図をもっている。 c：曲想とギターの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。		実技テスト 振り返りレポート	観察 実技テスト ワークシート
	身体を使ったリズムアンサンブルを楽しもう	【器楽】【鑑賞】 ボディパーカッション 「Prelude3」	a：【知①】曲想と音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。（器楽） 【技①】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。（器楽） 【知②】曲想、音色、奏法の関わりとその演奏効果について理解している。（鑑賞） b：【思①】音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。（器楽）	ワークシート 発表	発表 振り返りレポート	

※令和４年度以降入学生用

一学期	身体を使ったリズムアンサンブルを楽しもう	【器楽】【鑑賞】 ボディパーカッション 「Prelude3」	【思②】音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。（鑑賞） c：曲想と音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や、他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。（器楽・鑑賞）		発表 振り返りレポート	観察 発表 ワークシート
	DTMに挑戦	【創作】 「カトカトーン」を使った作編曲	a：【知】音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 【技】創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能、及び旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付け、創作で表している。 b：音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて独自の表現意図をもっている。	ワークシート 作品	作品 振り返りレポート	

※令和４年度以降入学生用

一学期	ＤＴＭに挑戦	【創作】 Ipad のアプリ「Garage Band」を使った作曲	c：音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。			観察 作品 ワークシート
二学期	日本語の美しい語感を生かして、ハーモニーを歌い上げよう。	【歌唱】 混声 3 部合唱 （各講座で曲を選択）	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c: 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技テスト	実技テスト 振り返りレポート	観察 実技テスト ワークシート
	三線アンサンブルに挑戦	【歌唱】【器楽】【創作】【鑑賞】 「涙そうそう」 「島人ぬ宝」より選択 【鑑賞】 奄美と沖縄の音楽・三線について（動画）	a:【知①】曲想と音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。（歌唱、器楽） 【技①】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、歌唱、器楽で表している。（歌唱、器楽）	ワークシート 実技テスト		

※令和４年度以降入学生用

二学期	三線アンサンブルに挑戦	【歌唱】【器楽】【創作】【鑑賞】 「涙そうそう」 「島人ぬ宝」より選択 【鑑賞】 奄美と沖縄の音楽・三線について(動画)	【知②】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について表したいイメージと関わらせて理解を深めている。（創作） 【技②】創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、編曲をする技能を身に付け、創作で表している。（創作） 【知③】沖縄、奄美の音楽や楽器とそれぞれの特徴について理解を深めている。曲想と音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や、他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。（鑑賞） b:【思①】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて独自の表現意図をもっている。（歌唱、器楽） 【思②】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて独自の表現意図をもっている。（創作）	ワークシート 実技テスト	実技テスト 振り返りレポート	

※令和４年度以降入学生用

二学期	三線アンサンブルに挑戦	【歌唱】【器楽】【創作】【鑑賞】 「涙そうそう」 「島人ぬ宝」より選択 【鑑賞】 奄美と沖縄の音楽・三線について(動画)	【思③】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。（鑑賞） c:曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や楽器の音色に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。編曲による効果や他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。（歌唱、器楽、創作、鑑賞）		実技テスト 振り返りレポート	観察 実技テスト ワークシート
	ギターでアルペジオ奏法の弾き語りをしよう	【歌唱】【器楽】 「大きな古時計」「いつも何度でも」「手紙」「なんでもないや」「Lemon」「香水」「裸の心」より選択	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。（歌唱、器楽） 【技】創意工夫を生かした器楽・歌唱表現をするために必要なギター奏法、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽・歌唱で表している。（歌唱、器楽）	ワークシート 実技テスト		

※令和４年度以降入学生用

二学期	ギターでアルペジオ奏法の弾き語りをしよう	【歌唱】【器楽】 「大きな古時計」「いつも何度でも」「手紙」「なんでもないや」「Lemon」「香水」「裸の心」より選択	b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。（歌唱、器楽） c: 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的にアルペジオ弾き語りの学習活動に取り組もうとしている。（歌唱、器楽）		実技テスト 振り返りレポート	観察 実技テスト ワークシート
二学期	音楽の要素に着目して2つの曲を聴き比べよう	【鑑賞】 「四季より冬」 「ブエノスアイレスの冬」	a：【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 b：音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている c：音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び音楽表現の共通性や固有性に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	班別自由演奏発表に向け、取り組む	【歌唱】【器楽】【創作】【鑑賞】 自由課題の発表 （曲、楽器編成、アレンジ等、各グループで決める）	a：【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。（歌唱、器楽、創作、鑑賞） 【技①】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能、及び器楽アンサンブルの表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、演奏で表現している。（歌唱、器楽） 【技②】音型、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように楽曲の雰囲気にあった編曲をするかについて表現意図をもっている。（創作） b：【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏・編曲するかについて表現意図をもっている。（歌唱、器楽、創作、鑑賞） c:曲想と楽器の音色や奏法との関わり、及び他者との調和や表現形態の特徴を生かして演奏・編曲することに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。（歌唱、器楽、創作、鑑賞）	ワークシート 発表	発表 振り返りレポート	観察 実技テスト ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度